

**製品名: PRP6 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16542**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRPF6 PRPF6; C20orf14; Pre-mRNA-processing factor 6; Androgen receptor N-terminal domain-
別名	transactivating protein 1; ANT-1; PRP6 homolog; U5 snRNP-associated 102 kDa protein; U5-102 kDa protein
遺伝子 ID	24148.0
SwissProt ID	O94906
免疫原	抗血清はヒト PRPF6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 747-796

**背景**

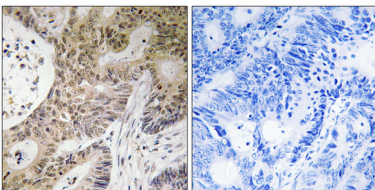
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、pre-mRNA スプライシングに関与していると考えられ、スプライソソームの形成において U5 snRNP と U4/U6 snRNP との橋渡し因子として作用している可能性がある。また、コードされるタンパク質はアンドロゲン受容体に結合し、転写活性化とスプライシングを結びつける。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能:pre-mRNA スプライシングに関与。スプライソソーム組み立ての後期段階で、tri-snRNP 複合体において U5 snRNP と U4/U6 snRNP との橋渡し因子として作用する可能性がある。tri-snRNP の形成に必要である可能性がある。類似性:9 つの HAT リピートを含む。サブユニット:U5 snRNP 粒子 (40 kDa、52 kDa、116 kDa、200 kDa、および 220 kDa のタンパク質を含む) と、おそらく 220 kDa タンパク質やその他のタンパク質との相互作用を介して関連する。U4/U6 snRNP 粒子 (15.5 kDa、20 kDa/60kDa/90kDa ヘテロマー、LSm タンパク質 LSM2-8、61 kDa、および Sm タンパク質を含む) と会合する。ARAF1 と相互作用する。スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも

AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PIIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22 から構成されています。RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、および ZCCHC8。

## 研究分野

スプライソソーム;

## 画像データ



PRPF6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。